

事業支援・仕事・技術・資格の情報ページ

不払いや融資など仕事・経営の相談は遠慮なく東京土建の各支部事務所まで。

現代の名工 島村計夫さん

25歳で農家から職人へ

昨年11月12日、厚生労働省では平成30年度の卓越した技能者(通称「現代の名工」)150人を決定し表彰しました。タイル張工として東京都では2人目となる「現代の名工」に選ばれた、三鷹武蔵野支部の島村計夫(89歳)さんにお話を伺いました。

「いつからタイル職人の道に入られたのですか。島村さん もともと埼玉・川越の農家の長男で、家業を手伝っていました。25歳の時に家出同然で深川の親戚の所



「現代の名工」に選ばれた島村さん

へ。叔母の夫が非常に優れた左官職で、そこで修業しました。職人としては遅いスタートです。一功績概要にある「積上げ張り」とは。

島村さん 今ほもう消えてなくなりそうな伝統工法ですが、基礎にはなっています。それが積みから端を築いている

の。親方が多才な人で、戦後仕事なんかなかったが、屋根漆喰や瓦、板金などなんでもやりました。

「深川にはいつまで。島村さん 親方の紹介で30歳くらいで結婚し、11年ほどいたと思います。親方の所で手

間請仕事をやりながら徐々に新規も開拓し、30代後半で独立。下高井戸に一年、吉祥寺に間借りし、三鷹へ。現場はすべて町場で、野丁場には食

単独的に無理だったので。

「組合加入はいつ頃ですか。島村さん 民間関係の組合から東京土建(三鷹支部)を紹介され加入したのが昭和50年

のうちの、長男と三男が跡を継ぎ頑張っています。三男は今三鷹武蔵野支部の役員を一生懸命やっております。

技術も大事だが 幅広い勉強も

「現代の名工」に選ばれて島村さん 最初は「何で自分が名工なんだ」と。今まであ

まあ自負するような仕事はしてきたつもりではあります。が、左甚五郎(※江戸時代初期に活躍したとされる伝説的な彫刻職人)が残したような

特にこれというものもない。ただ、選考の主旨を読むと、2人の息子を含む多少なりとも今頑張っている人たちが育てた点が認められてきたのか

なあと感じます。最後に、若い仲間たちに一言お願いします。島村さん 今、仕事が減ってきていると言われるなかで、うちも何とか3世帯飯が食えているのは、お客さんが興味を示してくれる提案をして仕事を掘り起こしているから。職人は黙って手を動かしていれば良いという時代はもう

社労士ネットのコーナー 39

2019年4月よりの労働基準法が改正されますが、以下主な改正点となります。

①時間外労働の上限規制の厳密化により36協定届(時間外・休日労働に関する協定届)の書式が変更されます。ただ

し猶予期間が設けられており、大企業は本年4月より適用されますが、中小企業設計事務所・建設コンサルタン

ト業は該当は2020年4月より、建設業(工作物の建設の事業)は2024年4月よりの適用となります。時

間外・休日労働をさせるため、年10日以上の有給休暇が

有休5日を指定して取得 使用者には罰則あり

年届出が必要となります。②すべての事業所において、年10日以上の有給休暇が

使用するには罰則あり

使協定で取得時季を定めて与えた日数(計画的付与)に関しては控除することができます

導入(会社が労働者代表との労使協定により、各労働者の有給休暇のうち5日を超える

部分について予め日にちを決める。例えば、一斉に特定の日、部署ごと、一人ずつ決める等)という方法があります。対象となる労働者に有給休暇の指定を行わなかった場合は罰則があります。

【作業主任者】足場 4月9日~10日(火水) 池袋、1万1千円 地山・土止め(掘削面高さが2m以上となる地山掘削と土止め支保工) 5月28日~30日(火水木) 池袋、1万6500円

石綿(石綿使用の建築物等の解体・リフォーム作業) 4月

会館、3万2千円 玉掛①4月10日~12日(水木金) 池袋(実技は板橋)、②6月14日~16日(金土日) 足立支部会館、2万1千円 車両系(整地等) 技能講習5月25日~26日(土日) 西多摩支部会館、3万7千円

資格講習コーナー

【特別教育など】職長・安全衛生責任者①4月4日~5日(木金) 池袋、②5月14日~15日(火水) 池袋、足場①4月23日(火) 池袋、②5月8日(水) 池袋、7千円

【建設機械】小型移動式クレーン5月10日~12日(金土日) 西多摩支部

お申込み、お問合せは各支部技術担当者へ

サッシ組立・搬入(正規) ウエハラトヨ一住器(練馬支部) 048-4822-5111 吹付塗装・ペンキ(正規) 豊島塗装(板橋支部) 090-88841-9318

求人

左官工(見習い)(正規) (飯村左官工業(江戸川支部) 090-5193-8822

電気工事(正規) (高坂電気(江戸川支部) 090-3235-1328

各種防水、発泡ウレタン吹付(正規) (みつわ巧芸(足立支部) 03856-4051

塗装(正規) (伊藤塗装(多摩西部支部) 080-8700-1793

経理事務(短期) (谷中工務店(文京支部) 3823-1237

解体(正規) (神水解体(足立支部) 3887-5145

求職

鉄骨とび鍛冶工(短期・請負) (山本和弘(北支部) 090-5778-5399

現場作業員(夜勤)(正規) (E・CAP防水(大田支部) 090-6564-2445

大工(正規) (向大正工務店(葛飾支部) 5670-5246

防水・外壁補修(正規) (新栄防水(三鷹武蔵野支部) 0422-144-17479

内装工(正規・請負) (インテリアノバーション(多摩西部支部) 042-519-4693

衛生空調配管工(正規) (森設備工業(江東支部) 6666-3968

求職

アイドリル オペ(正規) (名昭建設(足立支部) 080-2060-0440

GSホーダー(正規) (柳すがわ内装(江戸川支部) 090-3238-9256

石塚tie(葛飾支部) 090-3916-0080

一方、日本建築の伝統の実証体験として、柿(けし)葺き&鐘張りによる「犬小屋」

入母屋(いりもや)&反り屋根の「鐘楼」、「十二角堂」、「神輿」の制作班が注目を浴びました。十二角堂の設計を担当した研修生は「本当は多

宝塔をやるつもりだったが、難しすぎるのでレベルダウンした。原寸図の大きさをわかった」と話していました。

これらの卒業制作作品は4月中旬まで池袋校舎3階に展示する予定です。

東京建築カレッジ

【建築カレッジ・吉川新吾記】3月10日、東京建築カレッジ第22期生の卒業制作発表会が池袋校舎で開かれました。研修生、講師・指導員、理事・事務局以外

に、派遣事業主や来賓など約80人が参加。卒業制作は、研修生が各自のテーマを自由に決めることができる唯一の授業で、今年は7班に分かれての発表でした。

木組みの魅力を追求めるものがほとんどでしたが、技術の進歩で木造の可能性が広がる情勢を反映し、「東京建築カレッジ 校舎木造化計画」に挑戦した研修生がいました。

「木造耐火構造」の模型を披露して実現可能であることを報告しました。

22期生の卒業制作 校舎木造化計画も

注目を浴びた十二角堂と制作したカレッジ22期生

注目浴びた十二角堂と制作したカレッジ22期生

注目浴びた十二角堂と制作したカレッジ22期生

注目浴びた十二角堂と制作したカレッジ22期生

東京建築カレッジ

【建築カレッジ・吉川新吾記】3月10日、東京建築カレッジ第22期生の卒業制作発表会が池袋校舎で開かれました。研修生、講師・指導員、理事・事務局以外

に、派遣事業主や来賓など約80人が参加。卒業制作は、研修生が各自のテーマを自由に決めることができる唯一の授業で、今年は7班に分かれての発表でした。

木組みの魅力を追求めるものがほとんどでしたが、技術の進歩で木造の可能性が広がる情勢を反映し、「東京建築カレッジ 校舎木造化計画」に挑戦した研修生がいました。

「木造耐火構造」の模型を披露して実現可能であることを報告しました。

東京建築カレッジ

【建築カレッジ・吉川新吾記】3月10日、東京建築カレッジ第22期生の卒業制作発表会が池袋校舎で開かれました。研修生、講師・指導員、理事・事務局以外

に、派遣事業主や来賓など約80人が参加。卒業制作は、研修生が各自のテーマを自由に決めることができる唯一の授業で、今年は7班に分かれての発表でした。

木組みの魅力を追求めるものがほとんどでしたが、技術の進歩で木造の可能性が広がる情勢を反映し、「東京建築カレッジ 校舎木造化計画」に挑戦した研修生がいました。

「木造耐火構造」の模型を披露して実現可能であることを報告しました。

東京建築カレッジ

【建築カレッジ・吉川新吾記】3月10日、東京建築カレッジ第22期生の卒業制作発表会が池袋校舎で開かれました。研修生、講師・指導員、理事・事務局以外

に、派遣事業主や来賓など約80人が参加。卒業制作は、研修生が各自のテーマを自由に決めることができる唯一の授業で、今年は7班に分かれての発表でした。

木組みの魅力を追求めるものがほとんどでしたが、技術の進歩で木造の可能性が広がる情勢を反映し、「東京建築カレッジ 校舎木造化計画」に挑戦した研修生がいました。

「木造耐火構造」の模型を披露して実現可能であることを報告しました。

東京建築カレッジ

【建築カレッジ・吉川新吾記】3月10日、東京建築カレッジ第22期生の卒業制作発表会が池袋校舎で開かれました。研修生、講師・指導員、理事・事務局以外

に、派遣事業主や来賓など約80人が参加。卒業制作は、研修生が各自のテーマを自由に決めることができる唯一の授業で、今年は7班に分かれての発表でした。

木組みの魅力を追求めるものがほとんどでしたが、技術の進歩で木造の可能性が広がる情勢を反映し、「東京建築カレッジ 校舎木造化計画」に挑戦した研修生がいました。

「木造耐火構造」の模型を披露して実現可能であることを報告しました。